

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



五和会 成田 克子

● 新年生にプラスティックマスクを着用させては
● 出産祝金を復活させては

【問】 コロナ禍において児童生徒はストレスの多い学校生活を強いられている。先生が児童の健康状態や表情が分かるように新一年生の児童と先生に朝の会だけでもプラスティックマスクを着用させてはどうか。

【教育部長】

【答】 文部科学省からの通知では飛沫感染を防ぐため、児童生徒および教職員は身体的距離が十分取れないときや換気が不十分な場合などは原則としてマスクを着用することとし、マスクについては不織布マスクを推奨しています。しかし、透明マスク等の開発も進んできているため、安全で楽しい学校生活を送られるように今後、検討していきたいと考えています。

【問】 出生率が伸びている自治体は手厚い子育て支援を講じている。独自性の高い子育て支援策として、子育て世帯向けに一戸建て住宅を整備してはどうか。

【市長】

【答】 今後は若い人向けの住宅を整備する必要があると思っており、解体予定である若緑団地一帯に住宅をどう整備するか、または違う場所への整備など、総合的に検討したいと思っています。

【問】 子ども3人以上の世帯に米を年2回支給してはどうか。

【総務部長】

【答】 子育て世代の方々にはなんらかの経済的支援は必要と考えます。どのような経済的支援を必要としているか、ニーズを把握して検討していきます。

【問】 出産祝金として第1子、第2子となる子どもが生まれた場合、5万円給付し、第3子以降については10万円を3年間、第4子の場合は10万円を4年間給付するなどして、出生率向上を目指しては。

【福祉部長】

【答】 子育て支援策の実施については、効果等を見極めながら検討していきます。



五和会 長谷川 榮子

● 合葬墓を整備する考えは
● 目安箱を改善しては

【問】 少子高齢化や核家族化を背景に墓地の管理に不安を抱いている人が多く、県内各地においても合葬墓の整備を求める声が多い。過去の議会でも合葬墓について質問した際、本市では今後、合葬墓の整備を検討すると答弁していたが、その後どうなっているか。

【市長】

【答】 本市においても合葬墓の必要性は感じており、市民に対するアンケート調査を実施し、それをもとに令和4年度中に合葬墓の基本構想に着手したいと思っています。

【問】 合葬墓の予算規模は。

【市長】

【答】 基本構想に基づいた規模になると考えます。

【問】 市民の意見や要望を投書する目安箱の状況は。また、投書内容を広報紙に掲載しているか。

【総務部長】

【答】 市民の声を行政運営の参考にするため、ご意見箱として、市役所および各出張所に設置しているほか、市ホームページでも様々な

意見を受付しています。意見についてはその都度、担当部署に送付し、速やかに本人宛てに回答しています。また、広く周知すべき内容である場合は、市の広報紙とホームページに掲載しています。広報紙にはページ数に限りがあるほか、掲載情報には優先順位があるため、掲載時期に遅れを生じさせる場合があります。直近では、広報つがる令和4年3月号に掲載する予定となっています。

【問】 投書の中で一番多い意見は。

【総務部長】

【答】 一番多いのは職員の対応についてです。そのほか、ごみ収集、行政手続き、公共施設に関する苦情や問合せ、政策提案などがあります。

【問】 目安箱の場所は目立たない場所であり、備え付けである用紙も小さいため、改善してほしい。

【総務部長】

【答】 場所や用紙などを含め、リニューアルしたいと思っています。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



五和会 木村 良博

問 昭和50年度、平成10年度と現在の小学校数と児童数は。

【教育部長】

答 昭和50年度の小学校数は28校で児童数は4962人、平成10年度は26校で2507人、令和3年度では7校で1166人となっています。

問 教育委員会では過去に理想的な学校は1学年につき2学級ある学校だと答弁していたが、本市の現状は。

【教育部長】

答 本市では、すべての学年で2学級となっている小学校はありません。

問 人口減少が加速している今、学校の学区は適正か。学校統合は考えているのか。

【教育部長】

答 児童数減少により、将来的には複式学級となる可能性もあるため、学校統合について取り組んでいきたいと考えています。しかし、その際は地域の実情や廃校による

● 小学校統合を検討しては
● 高齢者にも優しい
まちづくりを

影響など総合的に勘案し、慎重に進めなければならないと考えています。

問 魅力あるまちにするには子育て支援と同様に、これまで地域を支えてきた高齢者も大事にしなければならぬと思っているが、本市の高齢者世帯はどのくらいか。

【福祉部長】

答 高齢者世帯は5124世帯あり、社会福祉協議会では支援が必要な高齢者世帯はおよそ1千世帯と把握しています（令和4年1月現在）。

問 高齢者に対する支援にはどのようなものがあるか。

【福祉部長】

答 高齢者の自宅を訪問し、食事の提供にあわせて見守りする配食サービスのほか、介護保険の利用により食料や日用品等の買い物を支援する事業もあります。そのほか、緊急時の通報に対応する緊急通報装置（福祉安心電話）を無料で貸与しています。



五和会 佐々木 敬藏

問 県道林五所川原線の善積地区は道幅が狭く、中型車が交差できないため、バイパス道路の整備が事業化された（＝善積バイパス）。その善積バイパスと県道再賀木造線のバイパスの事業が一本化されたそうだが、工事の進捗状況は。

【建設部長】

答 県の情報では、南北線の県道再賀木造線のバイパス事業は平成22年に最後の用地補償を終え、現在、残工事を実施しています。地盤が悪く、施工に時間を要しており、進捗率は約90%です。また、善積バイパスについては、平成11年から平成18年まで用地補償を進めてきましたが、一部の地権者の協力が得られない箇所があり、総工費の概算額が出せず、進捗率については算出できない状況です。

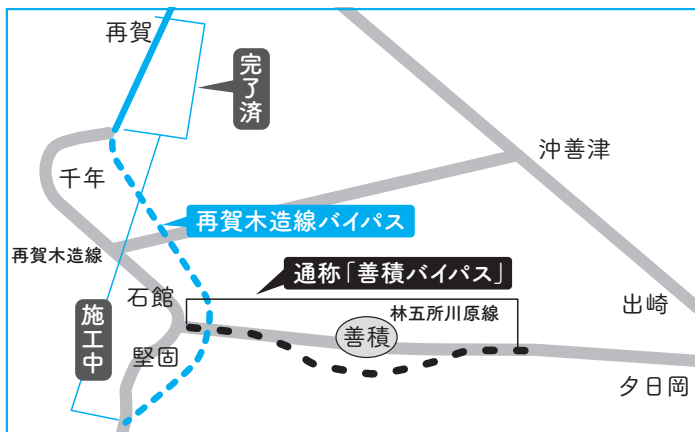
問 バイパス事業の今後の計画、対策は。

【建設部長】

答 県の情報では、現在施工中の南北線の再賀木造線に注力し、早期完成を目指すとのこと。また、

● 善積バイパス道路の
整備状況は

た、善積バイパスに関しては地権者の協力を得ることが、当該事業推進の必須条件であります。これらを踏まえ、改めて地域住民の要望を県に働きかけていきたいと考えています。



一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



きんかい さいとう たかし
絆心会 佐藤 孝志

問 市の組織機構の再編におけるおもなポイントは。

【総務部長】

答 これまで総務課内に交通防災係を設置していましたが、再編後は防災危機管理課として自主防災組織の推進など防災機能の強化を図ります。そのほか、子ども政策については、利便性を高めるため子育てに関する各種業務を一本化し、新たに子育て健康課を新設するなど、市民の皆さまに分かりやすく、効率的な組織運営に努めます。

問 ふるさと納税係を新設する理由は。

【総務部長】

答 令和3年度では、寄附金の増額を目指し、ふるさと納税ポータルサイトの増設、返礼品の拡充、返礼割合の見直しなどに取り組んだ結果、寄附金は前年度比2267万円増の5500万円となっております。令和4年度は専属係を配置することで、より一層

●組織の再編におけるポイント
●人口減少対策に向けた新たな政策は

寄附金の増額が期待できると考えています。

問 子育て健康課の新設を機に、人口減少対策として新たな施策は考えているか。

【福祉部長】

答 子育て健康課の新設は妊娠、出産、育児の相談などワンストップで対応することで安心して子育てをできるよう目指すもので、今後は、現状の施策等を活用しながら支援体制を整備してまいります。

問 子育てに必要な直接的経費を補助する政策をしない限り、人口減少に歯止めをかけることはできないと考えるが。

【福祉部長】

答 組織の再編により、子育て世代への支援体制を整備した後は若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるためにも議員各位をはじめ、市民の声を参考に様々な施策を積極的に講じていきたいと考えています。



きんかい さいとう わたる
絆心会 斎藤 渡

問 市内の水田地帯には全域をカバーできるGNSS基地局が完備されているのか。

【経済部長】

答 今年度、GNSS基地局4基設置しました。受信するには、受信機のチャンネル設定が必要となりますが、スマート農業機器を利用する農家であれば、どなたでも受信できるようになります。

※人口衛星を利用したGPSなどの測位システムの総称
基地局を設置することにより、位置情報の誤差を小さくすることが可能

問 スマート農業機器の導入に対する市の補助はあるか。

【農林水産課長】

答 上限額はありますが、スマート農業機器の購入費の4分の1を補助しています。

問 高齢者世帯に対して除雪の支援はあるか。

【福祉部長】

答 高齢者福祉サービ事業の一つとして、除雪支援を実施してい

●スマート農業に対する補助は
●高齢者に対する除雪支援は

ます。この除雪支援は65歳以上のひとり暮らしや高齢者世帯などで除雪することが困難な方を対象とし、自宅玄関から公道までの安全路を確保するための除雪をします。利用料金は1回1時間500円で、一冬の間10回まで利用できます。また、ひとり暮らし高齢者世帯などの見守りや訪問を行い、必要に応じ市の除雪サービスや除雪業者の紹介等を行っているほか、大雪などの緊急時には、社会福祉協議会において、地域の協力を得ながら除雪を支援しています。

問 市民から除雪ボランティアを募って、高齢者単身世帯に対して支援することは考えているか。

【福祉部長】

答 森田地区で、社会福祉協議会は森田養護学校の地域貢献活動と連携して除雪支援の連絡会を構築し、除雪支援を実施する体制づくりを行っています。また、地域で支え合い、地域で取り組む生活支援などのボランティア活動の体制づくり、活動支援は必要と考えています。